

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コクシカンダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) タナカフミト
国土館大学	経営学部	田中史人ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) クロスク	フリガナ) ハシモトタイセイ	6	無	
CLOSK	橋本大世			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)
なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)
ぶっとび学園～廃校活用アミューズメント～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

～子供の学び舎だった学校を、大人が集う場所へと生まれ変わらせたい～

このような思いから、大人(50代前後)を主なターゲットとし、バブル期をテーマとしたアミューズメント施設を考えた。

<目的>

- ・廃校の有効活用。
- ・幅広い年代に注目されているバブル期を再現したアミューズメント施設の設定。

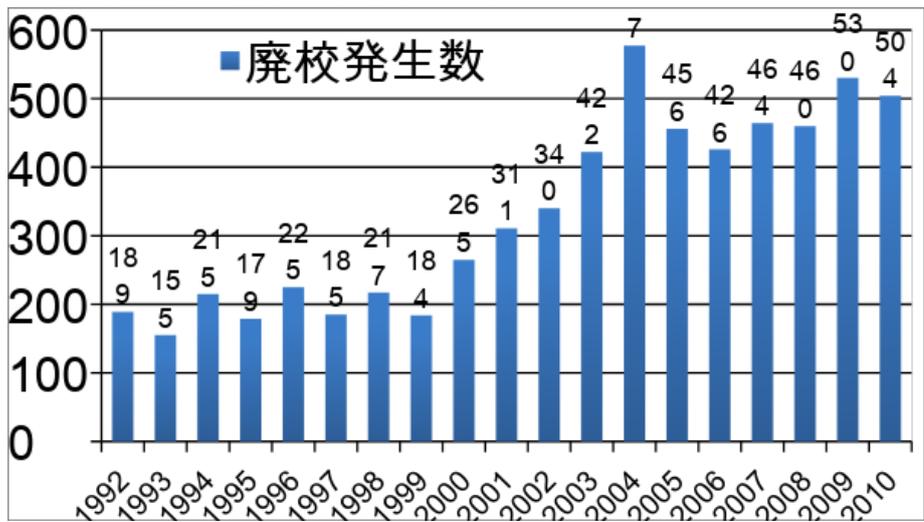
<新規性>

- ・子供の学び舎である学校を大人の遊び場として生まれ変わらせるという点。
- ・時代の移り変わりで見えかかっている、昭和の輝かしさを一つの場所に複合体感型アミューズメント施設という形で残す。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

<廃校数の増加>

私達が廃校を活用したビジネスを提案するのは、平成 14 年度から平成 23 年度に廃校となり建物が現存している 5,943 校のうち、7 割を超える 2,963 校が様々な用途で活用されている一方で、1,000 校の廃校施設については利用予定が無いという現状を知ったからである。廃校が発生する主な理由には、1 次産業を中心とする地場産業の衰退により招かれた急速な人口減少に伴う児童数・生徒数の減少があげられる。



<バブル時代の再来>

現在、経済やトレンドがバブル期に似た傾向である。

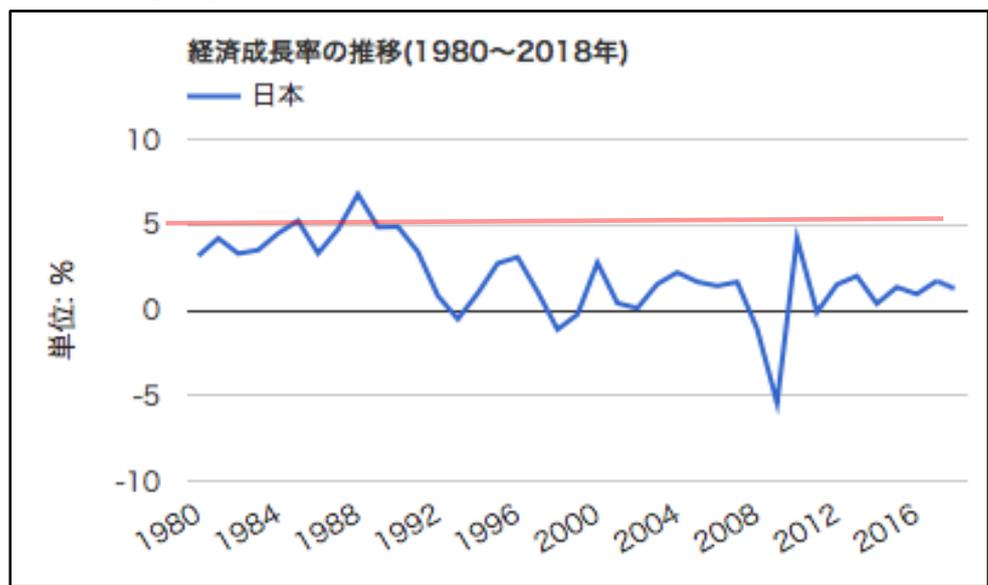
・トレンド

現代の若者は「個性」を大切にしている人が多く、バブル期のファッションは個性的なファッションとして注目を集めている。(赤リップ・クラッチバッグ・ビッグシルエットなど)

TV 番組や芸人でもバブル期をイメージしたものがよく見られるようになった。

・経済面

アベノミクスによる好景気



<アミューズメント施設市場調査>

マハラジャ六本木や台場一目横丁など、昭和の雰囲気を出させるような、アミューズメント施設に市場調査を行った結果、70%以上の来場者が 50 代前後の世代であることが分かった。

ディスコやプールバーなど 1980 年代に流行ったものは、今の 50 代前後の方々に需要のあるものであるとわかった。

3. 研究テーマの課題

廃校を用いたビジネスを行う上で、大きく分けて三つの課題が考えられる。

- 1 立地問題 建物が現存している廃校 5,943 校のうち、7 割が活用されているが、未だ用途の見つからない廃校の多くは、都心部から少し離れたところに位置する。そこで集客のために、どのようなことを行わなければならないのか考える必要がある。
- 2 費用について アミューズメント施設という区分として行うため規模が大きい。そのため多大な費用が生じてしまうため、資金調達方法を考える必要がある。
- 3 ターゲット層 アミューズメント施設という形で大人をターゲットにしているものが少ない。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

< 3. 研究テーマの課題に基づく >

- 1 販促方法 SNS の広告・チラシの配布・宿泊プランやバスツアーに織り込んでもらう。
- 2 費用について 地方公共団体の協力・タイアップしたい企業への交渉(ホテル・旅行会社・アミューズメント系企業など)
- 3 ターゲット層 40 代~50 代の方々をメインターゲットとし、さらにその時代を知らない方々もサブターゲットとして考える。

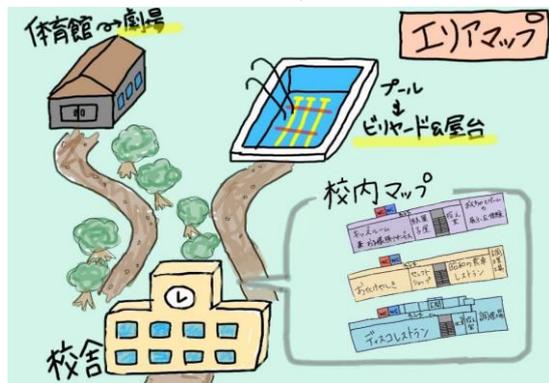
5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

<ぶとび学園について>

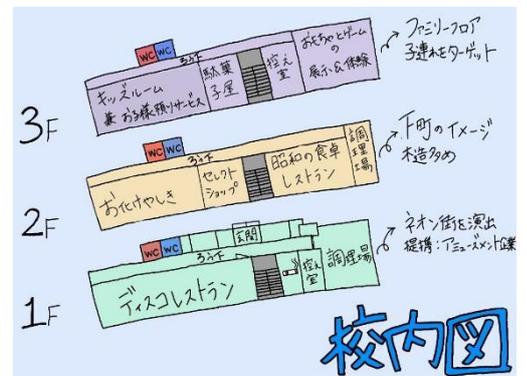
廃校を利用して、大人たちの集う場所へと生まれ変わらせる。

メインターゲット 50 代前後・サブターゲット 20 代 30 代

ぶとび学園エリアマップ ↓



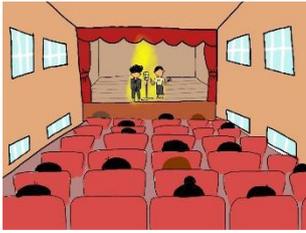
校内図 ↓



サービスについて

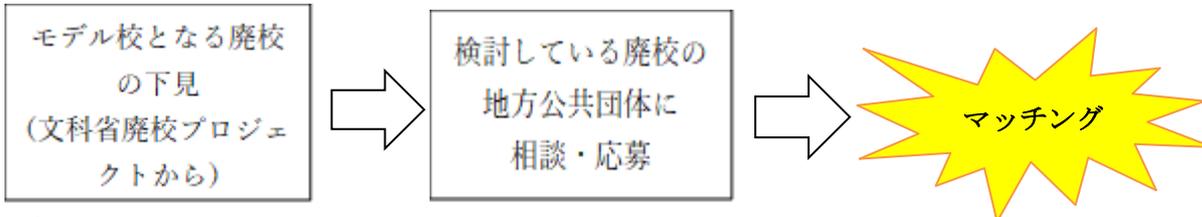
1980・90 年代のヒット曲をメインに流すディスコレストランや、プールの内部にビリヤードを設置した屋外プールバー・芸人やコピーアイドルの公演を行うモダンな赤を基調とした劇場・そのほかにも、竹の子族・1970.80 年代の流行品の展示・お化け屋敷・昭和をモチーフとしたレストランなど、昭和時代(バブル期)の輝かしさを再現したアミューズメント施設。

サービスのイメージ図 ↓



6. 結果や今後の取り組み

<今後の取り組み>



- ・プロモーション活動による認知度の向上
- ・施設内コンテンツの具現化

7. 参考文献

<https://www.nikkei.com/article/DGXLZO14972180W7A400C1MM8000/>

【日本経済新聞】

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1394609.htm

【「みんなの廃校」プロジェクト 現在活用用途を募集している廃校施設の一覧】

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1296809.htm

【～未来につなごう～「みんなの廃校」プロジェクト】

http://ecodb.net/exec/trans_country.php?type=WEO&d=NGDP_RPCH&c1=JP&s=&e=

【世界経済のネタ帳】

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください